学校番号	3027

令和８年度　教育文理科

教科	教育文理	科目	Teaching Skills	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	自主教材						
副教材等	Impact ISSUES 1 (Pearson Education)						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・この授業は、教育に必要となる「伝える」力を磨くことを目的としています。
・授業の活動を通して、他者の意見を尊重しながら、自分の意見や主張を論理的かつ効果的に伝え合う力をつけていきましょう。
・活動での気づきをまとめてメモしたり、意見を図にしたりことで、伝える相手の思いや意見をより理解しやすいように工夫して取り組みましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
英語で自分の意見や思いを「よりよく伝える」ための基礎的な語彙や表現、技能を、探究活動を通して身につける。
【思考力、判断力、表現力等】
英語で自分の意見や思いを「よりよく伝える」ために適切な手法を選択できるよう、活動を通して自ら課題を立て、批判的に考察し、創造的に解決する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
活動に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、課題解決に向けて取り組む創造的な態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	英語で自分の意見や思いを「よりよく伝える」ための基礎的な語彙や表現、技能を、探究活動を通して身につけている。	英語で自分の意見や思いを「よりよく伝える」ために適切な手法を選択できるよう、活動を通して自ら課題を立て、批判的に考察し、創造的に解決する力を身につけている。	活動に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、課題解決に向けて取り組む創造的な態度がみられる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	「よりよく伝える」ために	・「伝える、教える」ための方法にはどのようなものがあるかを調べ、授業見学や講演を聴き学び、意見を交換し合う。 ・調べた方法を分類し、意見交流をすることによって、伝える場面や伝える相手によって、適切な方法があることに気づく。 ・「よりよく伝える」ために大切だと思うことをまとめる。	a:「伝える、教える」方法を適切に分類し、その長所や短所について整理することができる。 b:「伝える、教える」方法を適切に分類し、その長所や短所について整理したことをもとに、自分の考えをまとめて発表することができる。 c:調べ学習や意見交流から考えたことや気づいたことを考察しながら活動に取り組むことができる。	発表 ワークシート	発表 ワークシート	観察 振り返りシート
	コミュニケーション、ディベート	・「文化、言語教育、社会、健康、科学技術、環境」などのトピックについて、クラスメイトと意見交流を行う。 ・トピックについて、調べ学習を通して得たデータなどを用いながら、自分の意見を発表する。 ・肯定と否定の両方から自分の意見を組み立て、肯定と否定のグループでディベートとして発表する。	a:テーマに必要な英語の語彙や表現を適切に用いて書くことができる。 b:調べ学習や意見交流から考えたことや気づいたことを活かして、自分の意見を書くことができる。 c:調べ学習や意見交流から考えたことや気づいたことを考察しながら活動に取り組むことができる。	発表 ワークシート 定期考査 パフォーマンステスト	発表 ワークシート 定期考査 パフォーマンステスト	観察 振り返りシート パフォーマンステスト
	小学校で体験授業を行おう	・小学生に英語のアクティビティーを実施するために、グループで工夫して準備をし、マイクロティーチングを行う。 ・マイクロティーチングの中で、工夫したことや気づいたことを意見交流・相互評価し、まとめて振り返る。 ・小学校で教育体験実習を行う。	a:適切な語彙や表現を用いることができる。 b:適切な表現を用いて場面や相手、立場に応じて、自分の意見や思いを伝えることができる。 c:発表や意見交流から考えたことや気づいたことを考察しながら活動に取り組むことができる。	発表 ワークシート	発表 ワークシート	観察 振り返りシート

2	コミュニケーション、ディベート	・「文化、言語教育、社会、健康、科学技術、環境」などのトピックについて、クラスメイトと意見交流を行う。 ・トピックについて、調べ学習を通して得たデータなどを用いながら、自分の意見を発表する。 ・肯定と否定の両方から自分の意見を組み立て、肯定と否定のグループでディベートとして発表する。	a:テーマに必要な英語の語彙や表現を適切に用いて書くことができる。 b:調べ学習や意見交流から考えたことや気づいたことを活かして、自分の意見を書くことができる。 c:調べ学習や意見交流から考えたことや気づいたことを考察しながら活動に取り組むことができる。	発表 ワークシート 定期考査 パフォーマンステスト	発表 ワークシート 定期考査 パフォーマンステスト	観察 振り返りシート パフォーマンステスト
	小学校で体験授業を行おう	・小学生に英語のアクティビティーを実施するために、グループで工夫して準備をし、マイクロティーチングを行う。 ・マイクロティーチングの中で、工夫したことや気づいたことを意見交流・相互評価し、まとめて振り返る。 ・小学校で教育体験実習を行う。	a:適切な語彙や表現を用いることができる。 b:適切な表現を用いて場面や相手、立場に応じて、自分の意見や思いを伝えることができる。 c:発表や意見交流から考えたことや気づいたことを考察しながら活動に取り組むことができる。	発表 ワークシート	発表 ワークシート	観察 振り返りシート
3	「よりよく伝える」ためには	・時事問題や入試問題の英語の文章や内容を、クラスメイトによりよく伝えるために、グループで工夫して準備をし、マイクロティーチングを行う。 ・マイクロティーチングの中で、工夫したことや気づいたことを意見交流・相互評価し、まとめて振り返る。 ・1年間の活動で通して学んだことをまとめて、振り返り、考察する。	a:適切な表現や語彙を使用してレポートを書くことができる。 b:これまでの活動から「よりよく伝える」ための方法について整理し、論理的にまとめて話したり、書いたりすることができる。 c:発表や意見交流から考えたことや気づいたことを考察しながら活動に取り組むことができる。	発表	発表 レポート	観察 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度